

令和5年度 地球温暖化防止県民会議 ＜温暖化対策に関する活動報告＞



お客さま・地域とともに2050年カーボンニュートラル実現へ

静岡県は豊かな自然に恵まれ、食品や製紙をはじめとする様々な産業を擁する地域です。私たち静岡ガスグループは地域の特性を活かしつつ、お客さま・地域とともに2050年カーボンニュートラルにチャレンジします。また、そのノウハウを東南アジア地域を中心とする海外へも展開し、それぞれの地域の課題解決にも貢献していきます。

地域の特性

① 豊かな自然

- ・豊富な森林資源（県土の約65%が森林）
- ・地下水など豊富な水資源
- ・伊豆半島ジオパーク
- ・温暖な気候 → 環境や森林を保全

② 多様な産業

- ・熱多消費型産業が集積
製紙産業、飲料産業
(出荷量全国1位) 等 → 熱需要が大きい

③ 身近で強靱なインフラ

- ・地域密着の都市ガス会社
- ・大都市圏とつながっている高圧ガスパイプライン
- ・ガスパイプライン耐震化率100%へ
→ レジリエントで生活しやすい地域の実現

・環境や森林資源の保全
・森林によるCO₂吸収の面からも
カーボンニュートラル社会の実現
に貢献

・熱需要を背景としたコージェネ
レーションシステムの普及
・分散型エネルギーシステムにより
地域の再生可能エネルギーを最大
限活用



森林資源



富士の製紙産業



長期パートナーシップ協定



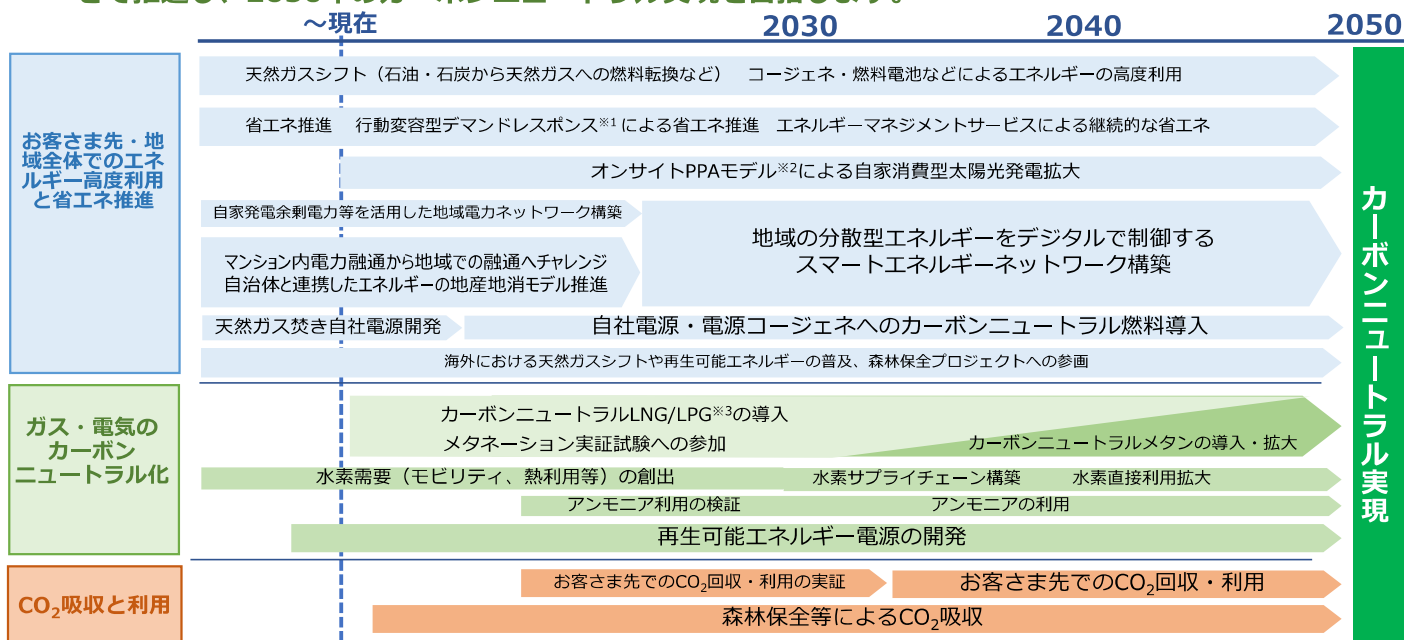
清水LNG(株)袖師基地



さらに、ノウハウを東南アジア地域
を中心とする海外へも展開
(海外事業)

カーボンニュートラルに向けたロードマップ

お客さまとともに低炭素化の取り組みを加速させ、さらにカーボンニュートラルメタンや水素、アンモニアの利用にチャレンジします。また、再生可能エネルギー電源の開発や森林保全によるCO₂吸収も併せて推進し、2050年のカーボンニュートラル実現を目指します。



※1 お客さまの自発的な節電行動（行動変容）を促し、電力需要の抑制を目指す取り組み ※2 事業者の費用によりお客さまの敷地内に太陽光発電設備を設置し、発電された電気をお客さまに供給する仕組み
 ※3 採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを森林の再生支援などによるCO₂削減分で相殺したLNG/LPG

取組事例①

静岡県袋井市において国産材100%利用のバイオマス発電所を開発 ～2024年12月の運転開始を目指します～

本事業会社は、静岡県袋井市において、静岡県産の未利用間伐材を中心とした国産材を100%利用した7,100kWの「遠州フォレストエナジー発電所」を建設・運営すること（以下「本事業」）を計画しており、2024年12月の運転開始を目指しています。

燃料となる木材については、静岡県産の未利用材を主として調達するほか、枝条や根元部、樹皮も収集・活用する計画です。

本事業を通じて、地域資源を余すところなく活用することで、静岡県内の森林整備や林業活性化に貢献するとともに、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



発電会社	遠州フォレストエナジー合同会社
事業地	静岡県袋井市岡崎字八幡前6653番8他（小笠山工業団地内）
出資会社	フォレストエナジー株式会社(70%)、静岡ガス&パワー株式会社(25%)、合同会社CEPCO-R(5%)
発電定格出力	7,100kW
想定年間発電電力量	約5,253万kWh（一般家庭約1.7万世帯の年間使用電力量に相当）
燃料種類	主に静岡県産の未利用間伐材を使用した木質チップ
燃料使用量	年間約9万トン
運転開始予定	2024年12月

取組事例②

静岡県袋井市で、太陽光発電とソバ栽培を組み合わせた大規模な営農型太陽光発電所を開所

本発電所は、長らく耕作がなされていなかった土地を活用します。太陽光発電設備は2023年4月に設置し、すでに運転を開始しています。今後、静岡ガス&パワーが太陽光発電事業の管理・運営を行い、静岡県を中心に野菜の生産などを手掛ける鈴生が、そのノウハウを活用し、太陽光パネルの下で農作物の栽培・育成・販売をします。

静岡ガスグループは、今後も、地域における再生可能エネルギーの開発を推進するとともに、本件のように耕作がなされていない土地の活用にも取り組むことで、2050年のカーボンニュートラル実現と地域活性化に貢献してまいります。



取組事例③

富士市・静岡県と森づくりに関する協定を締結、「シズガスの森」で植樹や保全活動を開始

富士市および静岡県と「しずおか未来の森サポーター制度」※1に基づく協定を2023年3月に締結しました。本協定をもとに、富士市より富士山の南側のふもとに位置する約10ヘクタールの市有林を提供いただき、「シズガスの森」と命名し、植樹や保全活動に取り組んでいきます。

植樹したヒノキについては、森林由来のCO2クレジットを創出し、地域内のカーボンオフセットの取り組みに使用するほか、建築用の木材として利用するなど、中長期での活用を進めていきます。



※1 静岡県が、社会貢献活動として森づくり活動を行う企業・団体を「しずおか未来の森サポーター」として認定し、フィールドや森づくり団体等の紹介、活動のPRなど支援する制度。